

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2014年度 第2回 理事会

日 時：2014年 2月 26日(水) 19:00～22:15

場 所：コンセーレ バンケットホール

出席者：

- ( 理 事 長 ) : 村上(敬称省略 以下同)  
( 直 前 理 事 長 ) : 福田(治)  
( 顧 問 ) :  
( 副 理 事 長 ) : 朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧  
( 専 務 理 事 ) : 中島(崇)  
( 監 事 ) : 黒川  
( 担 当 常 任 理 事 ) : 林、金  
( 全国大会招致会議議長 ) : 羽石  
( 会員拡大会議議長 ) : 太城  
( 協働連携特別会議議長 ) : 篠崎  
( 法令会計審査会議議長 ) : 廣田  
( 事 務 局 長 ) : 橋本  
( 委 員 長 ) : 飯沼、新妻、豊崎、木村(武)、中島(晴)、相馬  
( 副 議 長 ) : 宮林、渡邊、八木、山田、福田(弘)  
( 理 事 ) : 船見、青木、横島、梅田、岡田、増淵(代理)

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. JCIクリード唱和 <横島>
3. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和 <豊崎>
4. JC宣言朗読並びに綱領唱和 <中島(晴)>
5. 関東地区宣言唱和 <相馬>
6. 出席者の確認 <橋本>  
出席理事29名／33名
7. 議事録作成人並びに議事録署名人の指名 議事録：<総務委員会>  
議事録署名人：村 上 正 高  
黒 川 崇
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>
10. 理事長挨拶 <村上>

まずは第2回理事会、定刻にお集まりをいただきまして、ありがとうございます。そして、

冒頭にありましたとおり、YEGの全国大会がございました。ご協力をしていただいた理事の皆様、そしてメンバーの方にもお手伝いをいただいておりますので、是非、委員長のほうから御礼と労いをさせていただきたいという風に思います。宇都宮のYEGであります。今、歴代の理事長の3人の先輩がわざわざ御礼のご挨拶に来てくれたわけですが、日本全体としてもYEGとJCというのは、友好団体という位置づけとなっております。日本JCの会頭、そしてYEGの会長も交流をしている仲でございます。それぞれの地域にYEGもありますし、JCもあります。もちろん、JCのメンバーの中にもYEGに入っている人というのは、たくさん宇都宮にかぎらず全国にいるわけですが、それぞれの地域を活性化させていくという意味では、商工会議所ですから手法はもちろん違うのですが、こちらは商工、仕事をとおしてということになります。同じ仲間として今後も友好関係をより深めていきたいという風に思っておりますし、先程、直井先輩もおっしゃっていましたが、是非、使ってくれという、ありがたいお言葉もちょうだいを致しましたので、遠慮せずにごんごん使ってまいりたいという風に思った次第であります。そして本日も、この会議の設営をさせていただきました総務委員会の皆様、本当にありがとうございます。先程、小瀧副理事長がタイミングよく入って来られましたので、ちょっと笑いが起きてしまったわけですが、この理事会の場、厳粛であるべきだという風に思っております。もちろん会員の会費を我々理事がお預かりをして、ここで事業の審議、そしてお金の審議をするわけですから、一人ひとりが責任と自覚を持って、しっかりこの理事会に臨む。そのために、しっかり総務委員会が毎回、設営をしっかりとした心遣いを持ってしていただいているわけですので、そこは是非、常に感謝をさせていただきたいという風に思います。今日テーブルの上のコンセントにテープが張ってあるのに気付きました。これは凄くありがたいなと思います。こういった細かい総務委員会の気遣いは本当にありがたいという風に思った次第であります。そして、出向者の皆様、山本顧問をはじめとします、関東地区協議会に出向しているメンバー、そして小瀧副理事長が全運、そして梅田副委員長が日本の副委員長として出ておりますし、それぞれ日本JCの担い、関東地区の担い、もちろん栃木ブロックも、それぞれLOMでの活動をしながら、それぞれ出向先でもご活躍をいただいております。本当に私も日本の役員等から、宇都宮のメンバー頑張っているね、元気あるね、勢いあるねと、そんなことを常日頃お伝えいただきまして、本当に誇らしく思っております。まだ序盤であり、12月までの長丁場でございますけれども、それぞれ身体のご自愛をさせていただいて、最後まで頑張り抜いてほしいという風に思っているわけでございます。

さて、拡大の公開委員会が先日行われました。太城議長をはじめとします、会員拡大会議の皆様、本当にありがとうございます。金子先輩、どうゆうお話をするのかなど、私も期待をして行ったわけですが、本当にビジターの目線。本人も気にされておりましたが、ビジターにどんな言葉を投げかければ心に響くのか、そんなことを考えていただいた本当にいい講演内容だったなという風に思いました。その場の懇親会にも全員ビジターの方が参加してくれまして、私も多くのビジターさんとお話しをさせていただきましたが、本当にJCに対して積極的になっている姿を拝見させていただきまして、感激したところでございます。理事の皆様方におかれましては、本当にこれは副理事長、各ラインからですね、皆様にお話があると思いますが、本当に一人ひとりメンバーが自覚を持って、運動を広げていくために会員拡大をしなければならないということでもありますので、是非アンテナを常に張って、このJCの運動に参画していただけるようなメンバーをどんどん連れてきていただいて、この宇都宮JC、そして地域、そして市民を大いに盛り上げて行ってほしいという風に思っております。そして、いよいよ明日になります。2月例会市長を囲む会があります。これは、朝田副理事長のラインであります。政策委員会の皆様におかれましては、本当に準備をいただいているわけですが、これもビジターももちろん当然絡んできます。市長が来てくれる公式な例会、年に1回の例会であります。明日は私も参加してパネルディスカッションをするわけですが、未来の宇都宮、これをしっかりと私も発言をしようと思っておりますし、行政が考えているビジョンというの、しっかりと受け取れると思っております。行政に迎合するというわけではないです。どういった風に行政が考え動いているのか、これをしっかりと市民

として認識をしていただきたいという風に思うわけであります。昨日でしたか、これは市ではなく県ですけれど、最近栃木テレビで議会が放送をされているのですね。そうすると、この理事会のように、県会議員の皆様が上程をするわけであります。それに対して、知事がお答えをしていくわけでございますけれど、本当にこれをテレビで放送されているというのは、本当にありがたいことだと思えます。今、栃木県がどうゆう風なかたちで動いているのか、そして、各県会議員の人たちがどんな考えを持って今お仕事をされ、それを県議会で提案をしているのか、これをしっかりみてとれるので、皆さんも是非、機会があれば、栃木テレビをつけていただいて、議会の放送などをみていただくと、それぞれの委員会の活動、これに幅が広がっていくのかなという風に思っております。そして、いよいよ来週末に復興創造フォーラムがあります。復興創造フォーラム、東日本大震災から3年が経とうとしているわけでありますけれども、この復興創造フォーラムを3年続けてやろうということで、今年が最終年度という風になります。復旧は今、もちろんしてきているのですが、ただ、震災前に戻ったかといわれれば決してそうではない。今日も昨日も福島原発のニュースが連日流れているわけでありますけれども、我々もしっかりと今、戦後という時代ではなくて、震災後時代といわれている今日を、そしてこれから未来へ向けてどう我々が生きていかなければいけないのか、社会に対してどんな提案をしていかなければいけないのか、しっかりそういったことを考えられるフォーラムになりますので、一人でも多くのメンバーで、今年福島県のいわきでやりますけれども、これに参加をしていただきたいという風に思っております。最後に、最近気になっているところの一つだけ皆さんにお話しをしていきたいなという風に思うことがあります。これは報道についてです。今、韓国とかで反日の活動というのが連日、オリンピックも先日終わりましたが、反日の報道というのが色々あるわけでございます。それを日本のメディアが取り上げるわけです。韓国人はこんなことをいっているぞと、実はそれに凄く違和感を私は覚えているのです。結局日本のメディアが、韓国がそういった反日のことをしているぞということを報道すると、多分聞いている我々は、自然に韓国に対して敵視をするようになってしまうと思うのです。我々日本人というのは、利他の精神というのはもちろんあるのですけれども、もっとフラットな人種だと思っているのです、国民性としては。別にどこかの国を敵視したり、憎んだりする必要は我々ないと思うのです。みんな人間ですし、そういった報道をしたり、教育をしたりするから、反日とか反米とか、色々他の国に対しても嫌悪感とかを抱いてしまったりするのではないのかなという風に思うわけであります。韓国人の人ももちろんいい人いっぱいいるわけですし、日本のことも好きな人もたくさんいるわけでありますので、是非、報道などを皆さん鵜呑みにしないでいただきたい。一つの新聞やメディア等の情報だけを拾わないでいただきたいと思うのです。アンテナを常に張って色々な読み物、メディア、インターネット、情報、たくさんあります。どれが真実なのか見定めていただいて、事実を事実として認識はしていただきたいのですけれども、一つひとつのニュースに対して自分の考えを是非、持っていただきたいという風に思うのです。そうではないと、本当に変な方向に行くような気がしてならないのです。我々は未来を創る団体でありますから、一人ひとりしっかりとした考えを持って、明るい未来に向けてしっかりと自分自身を是非、持っていただきたいという風に思います。最後、これは批判をするわけではないのですけれども、ちょっと1点気になったところがあります。副会頭メッセージというのが先日流れてきました。竹島の日、これ読んだ人いらっしゃるでしょうか。登録とかはしていませんか。日本JICのメールマガジン会頭メッセージとか副会頭メッセージとかきてないですか。きていますよね。1点、気になったことがあるのですけれど、領土領海問題について、これは笹島副会長のメッセージとして流れているものでありますけれども、こう書いてあるのです。領土領海問題は、隣接地域だけの問題ではなく、国家全体の問題であり、国民の皆様が無関心が国益を損ねていることを自覚しなければなりません。引続き問題解決に向け、改訂版領土領海問題醸成プログラムを活用し、領土関係をおこなってまいります。これはいいのですが、そのあとに、今後も国民の皆様と共に当事者意識を高めていながら、海洋国家である日本の領土・領海を正しく理解し、そこにある大切な天然資源を未来に向けて守り行く意識を高める運動に取り組んでまいります。一見読むと、別に間違

っていることはもちろんいってないのですけれども、私、1点引っ掛かったのは、大切な天然資源を未来に向けて守り行く意識を高める運動というふうに書かれているのです。J Cとして、天然資源を守っていく運動をしているのかな、といふうちにちょっと思ったわけでありませぬ。もちろん、この国の主権者として領土領海のどこが我々の領土なのか、という我々主権者として醸成するのはもちろん必要なのですけれども、資源を守るために我々は運動をしているわけではない、というふうに私は理解しているのです。是非、先程の話とリンクするのですけれども、情報をすらっと読んでしまえばそのとおりに思えるのですけれども、運動というのをもうちょっと、一人ひとり是非、考えていただいて、この運動が何のためにおこなわれているかというのを、一つひとつ考え、それでそれぞれの委員会の運動に繋げていっていただきたい、というふうに思っているところであります。長くなってしまいましたが、2月の理事長としての冒頭のご挨拶とさせていただきます。

## 1 1. 直前理事長挨拶

<福田(治)>

まずは皆さんこんばんは。遅参を致しまして大変申しわけございません。第2回の理事会にお集まりいただき誠にありがとうございます。公務であるPTAの理事会というのがあります。来年4月からPTAの会長になる都合上さぼれなくて、さぼるといのは言葉が適切じゃないですね。そちらに出たから急いでこちらに駆け付けさせていただいた次第でございます。また、冒頭このチャットがあるということは、また首をそろえて先輩方がきていただけたのかなというところだと思いますが、おそらく皆さんに感謝をしてくれていたと思います。また、その際に私は生れてはじめてだと思うのですけれども、インフルエンザAにかかりまして、YEGの全国大会、それと関東JCシニアクラブの際に皆さんのフォローと、なによりも村上理事長のフォローができなくて、本当に申しわけございませんでした。多分神様がYEGには関わるなということだと思いますので、今後はもう関わらないようにさせていただきます。いまだこうかなというふうに思っております。いま日によって、JCの現役のバッチとシニアクラブのバッチとつけかえながら、いろいろ活動をさせていただいているのですけれども、確かに昨年理事長をさせていただいて、惜しくも直前理事長であり、卒業をしている歳けれども、現役でこの理事会でもこうしてご挨拶をさせていただいている機会、ものすごく両方に恵まれた機会があると思っておりますし、毎年理事長はそうとはかぎらないからこそ、こんな歳の私がいるときは、先輩方と現役の皆様とのしっかりとした懸け橋になっていかないといいなと思っておりますので、今後宇都宮JCのシニアクラブも中村専務理事のお父様、中島先輩が今年から会長になられました。一生懸命現役支援のために活動をしていただいております。今までは現役の理事会構成メンバーがシニアの皆さんと関わることがほとんどなかったのですが、そういった機会をもっともっとたくさん作りなさいといわれておりますので、まずは懇親を深められる席とかそういったものをどんどん送り出していきたいと思えます。まずは理事会構成メンバーの皆様方から、ご参加をいただければというふうに思えます。

もう2月になりました。議案を3本、審議可決いただいたと思うのですけれども、皆様方の耳が痛いお話しかもしれませんが、村上理事長はすごく優しくこの理事会で審議をしていると思えます。審議のときに意見がないから、おそらくふっているのです。理事長自ら指している。これは年によってやり方は違いますが、これは何の表れかという、やはり村上理事長というのは、日本JCで鍛えられてきたものを持っております。特にこの議案を見抜く力、どこが正確なポイントか、そこも瞬時に判断できる力をお持ちの理事長だと思えます。その年の理事長だからこそ、たぶん振っているというときは、理事長の中では見えているのです。審議であれこのポイントだれかいい人はいないかなというのを。同じ目線には早々なれるものではないのですけれども、是非、頑張って探していただきたい。今日来ていただいた方々には、パパッと審議は済ませたいみたいなのもいたわけですね。別にこれは先輩の否定ではないですが、でもそれは、審議の前に散々揉めたのだからいいだろうと。それでもまだまだよくできるところがあるというところを村上理事長はみているのです。審議のとき

に何か言ってもらえないかなと振っているということは、もちろん先程言った本人が見えているということもありますし、それだけこの会議に対して真摯に本気でこの一瞬に向き合ってほしいという理事長の表れだと思いますし、この会議の場で議案を議論すること、それは村上理事長がこの常任理事会、正副をとおして皆さんに学んでいただきたい姿勢だと思うのです。当時、私の前の山本理事長も、この会議は時間を気にせずにとんどんやりたいという気持ちをお持ちでした。私もどちらかというところ、そうゆうところがあります。我々の理事長は時間を気にしながら、議論をふんだんにしていきたいというところを持っている理事長です。是非ともこの年の2014年度の理事会の構成メンバーであるのであれば、この会議に、この一瞬一瞬に本気で向き合っていて、全員が議案のスペシャリストになれるぐらいにしていきたい。またそういった機会に恵まれた年であります。日本JICで数多くの議案をみてきた男が今理事長としてこの場にいる。その男がみんなのために、いろんなところを、答えまでは言えないのですが、少しはヒントを与えながらやってくれているところがあるので、是非ともそこには答えられるように、それが皆さんの血と肉となり、宇都宮JICの強さに繋がっていくはずだと思いますので、是非ともその1点をお願いしたいです。まず、常任、議長、委員長もそうですけど、副委員長にもお願いしたいのは、今日審議をさせていただいていますけれども、私からみてもまだまだ議案が甘い部分が多々あるのは事実です。審議可決したのも、まだまだ本気でもっともっと向き合えると思いますから、それはふんだんにやっていただきたいし、委員長、議長がわからないなら常任、議長に。常任、議長がわからないなら副理事長にと、とんどん上にあたっていかないといいものが作られていかないと、是非ともそこはお願いをして、2014年だからできる素晴らしい利点だと思いますので、この機会を逃さずにこの理事会という時間に、一瞬一瞬本気で向き合っていていただきたいと思います。これはお願いでございます。あまり長くなるとまた、ロングスピーチとか言われますので、この辺でやめさせていただきたいと思いますが、皆様方の大いなる成長を期待して、1年間この常任理事会の席から皆さんの姿をみさせていただきたいと思います。我々が宇都宮そのものです。本日も最後まで宜しくお願いいたします。

## 12. 役員報告

<金> 一昨日、中島専務のほうからメールが流れていると思うのですが、3月29日に相互理解確立委員会主催でプレゼンターセミナーを開催いたします。多くの方にお問い合わせをいただいております、もう10名以上の参加希望が来ております。内容を再度お伝えしたいと思いますが、3月29日土曜日、朝9時から夕方5時までの1日ばかりになるのですけれども、講師をお呼びしこのコンセーレの研修室で行わせていただきます。人に物事を伝えるプレゼンテーション能力のスキルを学ぶ絶好の機会だと思います。JICだけでなく仕事にも生かせるスキルだと思います。定員がございますので、参加を希望される方は、早々に私までご連絡をいただきたいと思います。尚、参加費は5,000円となっております。

<中島(崇)> 重ねまして、プレゼンターセミナーに関しましては、JCIのホームページにおいてJCIへのアカウントを作成する必要性がございますので、参加をご希望のLOMメンバーに関しては、メーリングにも流したとおり、橋本事務局の方からガイダンスを連絡させていただきますので、JCIのアカウントをつくる方等々、JCIの日本語のページもできていますので、まったくわからないかたちではないと思うのですが、なにかございましたら、橋本事務局をLOMの窓口として対応させていただきますので、宜しくお願いいたします。

<八木> 私のほうから3点ございます。まず1点目、先日おこなわれました公開委員会におかれましては、たくさんのビジターさんのお誘い、ならびにご参加いただきまして誠にありがとうございました。2つ目は、次回3月11日になりますが、公開委員会の方を再度おこなわせていただきます。是非、スケジュールをご確認いただければと思います。講師は徳原先輩でございます。最後に3点目、こちらは会員拡大会議からのお願いでございます。会員拡大会議から、皆様各委員会の方にアンケートのご協力のお願いをしたいと思っております。詳細につきましては、メーリングのほうで公開させていただきますが、目的としましては、革新的な拡大手法を検討するにあたっての情報収集の一環でございます。皆様に納品できるようなものをつくってまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

<廣田> 議案を作成するにあたりまして2点ほどお願いがございます。1点目ですが、コンプライアンスチェックシートを今年度から取り入れさせていただいておりますが、若干混乱があるようですので、計画、報告議案とも今後参考資料に添付するようお願い致します。もう1点ですが、報告議案の方に添付する県提出資料の事業報告書ですが、こちら今、参考資料のほうに掲載されておりますが、これを審議対象資料に掲載するようお願いいたします。理由としては、こちら事業年度の末に県の方に事業報告書として提出いたしますので、理事会での審議をいただきたいと思ひましてこのようなかたちにいたしました。

<中島(崇)> 私のほうから2点。まず、常任理事会の際にもお伝えをしており、すでに運行をされておりますが、J Cルームの禁煙化がいよいよ2月からスタートしておりますので、今までとまた環境が違ったことになっておりますが、コンセーレでの協議の中で決まったことでもございますので、何卒ご理解とご協力のほどを宜しくお願いを致します。それからもう1点、先月の理事会でお伝えいたしました、村上理事長からの議案作成セミナー、こちらを3月の13日木曜日の開催で検討させていただきたいと思ひます。場所は追ってご連絡を差し上げますが、おそらくコンセーレになると思われまふ。議長、委員長の皆様、議案作成にあたっての委員会の責任者でございますので、必ず出席していただきますよう宜しくお願いをいたします。

### 13. 審議事項

審-01 3月 全国大会招致セミナー開催契約ならびに予算(案)承認の件

審議資料に基づき、羽石議長より上程文の読み上げ。

<村上> 小瀧常任補足ございますか。

<小瀧> 特段ございません。

<村上> 廣田議長コメントをお願いします。

<廣田> 臨時の法令会計のときにもご確認させていただいたのですが、時間の都合上、講師依頼承諾書の消印を、ご本人が来た際に印鑑を押していただくようになっています。これは確認でございますので、それだけ宜しくお願い致します。

<増淵> 参加人数の対象メンバーの根拠がよくわからないのですが、シニアクラブ、ブロック内会員会議所の30名の根拠は何ですか。

<羽石> 今回案内の方ですが、シニアクラブならびに会員会議所、栃木ブロック協議会の会長、ならびに役員の皆様、さらに県内10LOMの会議所の皆様と専務の皆様、ならびにメンバーの皆様に送らせていただいております。30名の根拠ですが、この中で何名来てくれるかというところはあるのですが、一応仮に各LOMで理事長がいらっしゃる場合には、理事長だけがいらっしゃることはございませんので、専務ならびに誰か一緒に来る方がいるということ踏まえて、各LOMのほうからいらっしゃる場合には、会員2名と想定して、3割の方が10LOMのうち3LOMの理事長、専務ならびに来ていただければ6名です。あとは栃木ブロック協議会の方です。会長ならびに運営専務、ならびに副会長にお越しいただくことを換算して30名と記載させていただきました。こちら来るかどうかというのはあるのですが、今回お越しにいただく古川くんにおかれましては、現在、日本JC本会の顧問をしていただいている経緯もございますので、そういったところで、お越しいただけるのではないかと思います30名とさせていただきました。

<村上> 採決に移ります。

【採決】 全会一致 審議可決

審-02 4月 姉妹JC交流事業（案）承認の件

審議資料に基づき、木村委員長より上程文の読み上げ。

<村上> 金常任補足ございますか。

<金> 特段ございません。

<村上> 廣田議長コメントをお願いします。

<廣田> 特段ございません。

<村上> 私から1点、先月指摘をしておけばよかったのでしようけれども、こちら予算が絡む事業になりますので、総務委員長、この議案名を4月姉妹JC交流事業開催計画ならびに予算（案）承認の件、というふうに変更をしてください。

<豊崎> 木村委員長お疲れ様です。全体的な流れ、事業内容等がわかりやすくなって非常によろしいかと思えます。

<村上> 採決に移ります。

【採決】 全会一致 審議可決

<村上> 木村委員長意気込みをお聞かせください。

<木村> 4月4日の事業に関しまして、30名近くの皆様が来てくれるということで、来ていただいた際には絶対何か持ち帰れるように、何か持ち帰るためには、今回僕が感じたことは、自ら英語ができなくてもどんどん食い込んでいただいて、しゃべれない英語でもあちらの方がすごい理解をしてくれようとしていただけますので、皆さん、何も持ち帰らないのではなくて、何か1つでも2つでも3つでも多く持ち帰っていただきたいと思っています。絶対楽しかったと思わせるような数日間にしますので、是非宜しくをお願いします。

審-03 5月例会 第33回 わんぱく相撲宇都宮場所告知計画ならびに予算（案）承認の件

審議資料に基づき、相馬委員長より上程文の読み上げ。

<村上> 林常任補足ございますか。

<林> 特段ございません。

<村上> 廣田議長コメントをお願いします。

<廣田> 特段ございません。

<村上> 3番項の予算告知が2つ書かれているのは、どのような書き方でどのようなことなのでしょう。

<廣田> 今回のこの議案ですが、告知部分の予算の方は変更なく、開催の部分での予算の変更がございました。よって我々法令会計で審査、審議した時の告知部分の予算に変更がないため、臨時を行わず、その時の予算を旧予算として添付していただいております。よって今回の議案に関する予算部分に関しましては、近い審査をしておりますので問題ございません。

<船見> 当日は各委員会の役割的な配置というのは、議案の中ではどちらかにはあっているのでしょうか。

<相馬> 本体議案のほうに添付させていただいております。

<村上> 豊崎委員長との連携は大丈夫でしょうか。

<豊崎> 大丈夫です。

<新妻> 意見ですけれども、私も告知議案をやり郵送をするかたちでやったのですけれども、そのほか、郵送をする方にも郵送をした後に電話をしていただいた方がよろしいのかなど、お電話をしていただくことにより、またみていただく確率、出席していただく確率が上がると思います。

<村上> 経験をとおしてのご意見ですので、是非アドバイスとして、お持ち帰りいただければというふうに思います。採決に移ります。

【採決】 全会一致 審議可決

審-0 4 2月新入会員認証(案)承認の件

審議資料に基づき、八木副議長より上程文の読み上げ。

- <朝田> 申込書に空欄がいくつかありますので埋めていただくようお願いいたします。推薦理由書の、弊社の広告担当は削除してもよろしいのではないかと思います。
- <八木> 空欄をしっかりと埋めて、ご意見いただきました推薦理由書の点は委員長ともみながら修正したいと思います。
- <村上> 空欄につきましては任意の部分もありますので、一度大内君には確認をとってもらい、載せられない情報は載せないで結構ですので確認をお願いいたします。採決に移ります。

【採決】 全会一致 審議可決

1 4. 協議事項

協-0 1 4月例会 法令会計事業(案)について

協議資料に基づき、渡辺副議長より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> こちら今クール初上程ということでございまして、私のラインで恐縮ですが、先程の審議事項と同様にタイトルを法令会計事業(案)についてではなく、法令会計事業開催計画ならびに予算(案)について修正をお願いします。
- <木村> 公益内容の1、公益法人でというところですが、何か質問に対して回答してもらえるとかの内容がよくわかりません。
- <渡邊> 公益法人でということで10分間時間をとらせていただいているのですけれども、こちら皆さんにやっていただく内容なのですから、我々から公益法人についての質問を投げさせていただくことで、これから公益法人の講演に行くに伴って、皆さんの公益に対する疑問、関心、そういったものを喚起、公益に頭を切り替えていただくことで、次の講演に集中して聞いていただきたい、そういった考えでこれを入れております。
- <木村> 公益法人に対して僕はあまり知識がないので意見なのですが、講演内容の1、2、3うかとあるのですが、この順番にした意図はあるのでしょうか、2番の公益法人制度について聞いてからの方がいいのかなと思います。僕はあまりこれについて詳しくないので、頭に入ってこないのかなと思いました。
- <渡邊> 1、2、3、4と、1番の順番は変えないで、やはりわからない人もいると思うのですけれど、わからない人なりに質問を投げかけられたことに対して

一生懸命に、公益ってどうゆうことなのだろうという質問に対して答えようと思うのです。仮にたとえば、公益についてわからなくて書けなかったり、わからない人でも周りの人は、公益について話しているのは耳から入ってくると思います。それによって自分の中で公益って何なのだろうかという疑問。そして、公益ってもっとどうゆうこともできるのかなという関心。そういったものが生まれれば、先生の質問に対しては、そのあとの講演で先生に答えていただきますので、より質問内容を知りたいと思って、次の講演に集中して聞いていただけると、そういった姿勢となっております。また、2番、3番この順番になっておりますけれども、内容は、これはどうゆうふうになっていきますが一緒になっています。話の中でこういった事例を挙げたなら進めていきます。

<横島> 自分が入ってすぐ公益になりまして、公益になったときの経緯を参考資料に付け加えていただけると嬉しく思うのですけれども。

<渡邊> 委員会に持ち帰り検討させていただきます。

<福田(弘)> 講演内容に関してですが、『3番のそれはダメでしょ！事例から学ぶ公益法人としての注意点』こちら参考資料で勧告事例が載っています。こちらの方、公益インフォメーションの方から、かかってくる形だと思っておりますけれども、J Cとかというよりは、かけ離れている本当にダメだしされた例ですよ。たとえばこの事例に基づいて講師の方が話をされるということで載せてらっしゃるのでしょうか。

<渡邊> これについて、この中にも何個か勧告事例ももしかしたら出てくるかもしれませんが、もっと違う内容、勧告事例なんかも挙げながらやっていただけると今その辺は話を進めておりますので、これだけということはないです。

<福田(弘)> 回答ありがとうございます。講師の方と打ち合わせ、また講師の方がJ Cに関して、当人の事業について理解のあるような方でしたら、J Cの方でやりそうな事例に、J Cの事業の実態に近い事例等からこちらのほうのダメでしょ、というような内容を探していただいたほうが、我々の将来的な皆さんの公益的な理解に繋がるかなと思います。

<八木> パリッとした法令のなかで、楽しそうなクイズとなってワクワクしております。参考資料について、講師のプロフィールの件で、誤字脱字系が2点ありましたのでご報告させていただきます。3ページ目のQ&Aの1番最後の、助成をしている、この間に括弧が入ってしまっているというのが1点。あと、前回の資料につきまして、西暦表示のところと平成表示のところがありましたので統一されたほうがパリッとしてかっこいいなかなと思います。

<太城> 公益に関することということで、今の宇都宮J Cには非常に必要なことだと思うのでいいと思うのですけれども、拡大の立場から言わせていただくと、非常にビジターを呼びづらい内容かなというのがありまして、仮に僕がビジターだったらまずい考えと、公益なんて語っちゃうには知ったものかということなのでも、なので、頑張っって呼びたいと思うので、もっと事例とかいい事例とか、クイズもどうゆう出題をするのか知りませんが、盛り上がるような、来てよかったなと思ってもらえる出題にしてもらえればありがた

いかなと思います。

<青木> 質問ではないのですが、10番項の事業内容のなかに講演内容の1ですけれど、参考資料講演前質問事項がリンクになってないです。

<豊崎> 今の青木副委員長と同じ個所ですけれども、講演前質問事項の部分、リンクが飛んでないところのものと、電子資料の9番の質問書が同じ資料ですが、こちらはよろしいのでしょうか。

<渡邊> はい問題ございません。

<豊崎> こちら質問書のほうを事前に委員会の方に配布していただき、委員会で記入するというかたちでしょうか。

<渡邊> 当日に配布して10分間の時間でそこで記入するということです。

<村上> 全体的にまとまった議案にはなっているのですけれども、内容に関しては今日いただいた意見を参考にしていただいて、もうちょっとブラッシュアップしていただければいいのかなと思います。今日の意見でも出ていましたけれどもかたいですよね。前回も正副常任というところで、事業名とかをもう少しやわらかくしたらとお話をさせていただきました。たとえば自分の家族とかにこのタイトルだったら来る気になるとか。多分そうゆう視点なのだと思うのです。内容に関しては、来てもらえれば凄く中身はよいと思うのです。やはり言い口を、太城議長もおっしゃっていましたが、期待と思わせる何か仕掛けを作っていないといけないのかなというふうに思いますので、少し考えてみてほしいなというのがあります。それと、事業目的で、この深めることを目的とします、で終わっている。そのあとの啓発というものもあるのですけれども。多分この事業の目的というのは、もっと先だと思います。公益法人としての我々の運営の質をあげて、説得力を持たせるというところに繋げていかないといけないと思うので、目的をもうちょっと先にセッティングしてほしいというふうに思いました。

協一〇二 5月 第33回わんぱく相撲宇都宮場所開催計画ならびに予算（案）について

協議資料に基づき、相馬委員長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> 前回からの肉付けという部分で変わってきている部分が、ご上程いただいた4点というところがございますので、慎重なるご協議を皆様のほうでもいただきたいと思います。

<中島(崇)> 私のほうから1点。新たに最初のスタートのところでのアトラクション、和太鼓が入っているかと思うのですけれども、こちらは無償ということによろしいでしょうか。

<相馬> はいそうです。協力というかたちでお弁当を予算のほうで追加させていただいています。

<羽石> 意見なのですが、去年か一昨年か私も記憶が定かでないのですが、トーナメ

ント表を通常ボードに張られているかと思うのですが、一度画鋲が落ちて、こどもが踏んでしまったということがございました。その時は親の方に誤って特に大きな問題にはならなかったのですが、一応その辺りについて今回も備品リストに、画鋲と出ていましたので、もしも何か代替えできるものがあるのであれば、委員会内でご検討いただけたらと思います。

<山田> 議案が全体的に去年よりいろいろと新しいことが取り入れられて、本当に素晴らしい議案だと思います。質問させていただきたいのは、前回の理事会で質問させていただいたところでもあるのですが、予算書のところで多分新たに入れていただいたところだと思うのですが、相撲場使用料が2時間早朝料金で2時間分早まるというところだと思うのですが、通常料8時半マイナス2時間で、6時半から使えるということではよろしかったでしょうか。

<相馬> そのようになっております。

<山田> そうでしたら去年のようなミスは発生しないと思いますのでよかったですと思います。あと1点意見ですが、先程審議可決されました議案の中の開催趣意書のなかで、『礼節を身につけることをできる事業運営を心がけていきたい』という言葉がございまして、是非事業目的、対外のところを見ますと、相撲の特徴でもあります、礼節とか儀礼とか、そういったところが特段触れられておりませんので、そういったことを学ぶといことも一つの目的としていただければなと思います。

<中島(崇)> 議事といいますか、進行について1点ご説明をさせていただきたいのですが、J Cの会議がロバート議事法というのに則ってやっておりますので、必ず発言をするときには必ず挙手をしてください。答弁を二人の間だけであることなく、発言をする際には必ず挙手をしてからのもとの発言をするように気をつけるようにお願いします。

<木村(武)> 役割分担のところなのですが、役割分担のまわしのところに、地域交流委員会と政策委員会が入っていると思うのですが、2つ委員会合わせて女性が1人、下島さんしかいないと思うのですが、女の子のまわしとかもあるので、ほか女性メンバーをこっちに回すということは考えているのでしょうか。

<相馬> 政策委員会のほうで、まだ下話しはしていないのですが、下島由美さんがいるので、その辺で考えております。

<中島(崇)> 質問の答えになっていません。

<相馬> 失礼致しました。もう一度質問を宜しく願いいたします。

<木村(武)> 政策と我々地域交流の両委員会では女性が下島さん一人だけなのですが、女の子の参加者がダツとくると、僕ら男の人では触れられないところが出てきます。それ以外でも女性メンバーが他の委員会にいると思いますので、そちらをまわしのほうに回すような考えはありますかということです。

<相馬> もちろん考えておりましたが、一人では足りないなと思うところがあるので、委員会の方で少し考えていきます。

<中島(晴)> 前回は出たと思うのですが、アンケートにつきまして、今回の議案見ますと保護者を対象に記入、記載されているのですが、1番の相撲大会に出場してよかったですかというのは、保護者に対するアンケートの内容とはちょっと違うのかなあというのが1点。お子様に変化が見られましたか、見れないという表記的におかしいので、見れないと変えたほうがいいのかなと思います。

<相馬> 委員会の方で訂正で考えていきます。

<木村> 今回すごい人数を予定しているということなのですが、提案なのですが、相馬委員長の委員会だけでかかえるのではなく、毎年みていると、応募に来る小学校が結構偏っていると思います。なので、僕でしたら僕の娘が行っているところの校長先生と顔見知りだったら、そうゆうところに理事の人とか手を挙げて、逆に配りに行ってあげれば、今まで参加、学校によっては、ポツンと端っこのほうに張ってあって誰も知らない、後から父兄さんから聞いてそういうのやっているんだ、来年は出たいという意見も出ていたので、いろんな小学校で思っているよりは出られるように、もっと理事メンバーとか協力してみんなでやったほうがいいのかなと思ったので、そうゆう案を出していただければと思います。

<相馬> 委員会のほうで、私共も新しい参加者っていうのはもちろん考えております。その辺でメンバーの皆さんのご協力等をいただき、委員会のほうで、どうゆう内容で参加者を増やすかというのをもっと考えていきたいと思っております。

<八木> 1点質問です。本年度工夫と期待される効果のところでございますが、期待される効果の1のところの、『宇都宮JCの活動を理解していただき、将来の会員拡大に繋がります。』ここに書いてある、将来の会員拡大、将来の会員とはどのあたりを指すのかということのお考えを伺いたいと思います。

<相馬> 1番の効果なのですが、ボランティアさん向けで考えておまして、そこでの協力を現在16名で考えているのですが、そこで本当に宇都宮JCらしさを理解していただけるような方を選んでおまして、そこでJCに入りたいなということも思っていたらなんと、そんな事業に持っていけたらと思っております。

<八木> 是非、ボランティアの件もご協力させていただきたいと改めて思いました。加えて私個人としては、将来の会員というのは、参加される小学生たちも8年後には20歳になります。そこを考えると将来的な拡大ビジョンを考えると、このような事業はすごく宇都宮JCにとっては、将来的にはチャンスかなと思っておりますので、是非参加される小学校のお手伝い、拡大についてもしっかりと協力させていただきたいと思っております。

<村上> 継続事業にはなるのですが、やっぱり重要なのは議案の作成をしている中で、細かくシミュレーションをどんどんしていくことが1番だと思っております。是非、委員会のなかで本番さながらのイメージをしていただいて、いろんな意見を出し合い、よりよい質の高いわんぱく相撲を作っていってもらえればと思います。

協一〇三 PR事業計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、豊崎委員長より上程文の読み上げ。

- <木村> PR映像の写真の切り替えが早いと思います。目と耳を使い映像を作るようお願いします。
- <豊崎> 委員会に持ち帰り、時間等の配分を検討させていただきます。
- <太城> 印象からいうとJCっぽいと思いますが、これが一般の方に受けるのかという印象を持ちました。もっとJCメンバー以外の人からの意見を取り入れるといいのではと思います。中身がまつりとまちづくりだけになっていて片寄を感じました。市民にJCを知ってもらうためにはまだまだネタが足りないと思います。拡大の視点からみても、これをみて興味が湧くのかなと感じました。
- <豊崎> 委員会として宇都宮JCの代表的な例会をメインにし、写真を選定いたしました。一般的に受け入れられるというところを、もう一度委員会メンバーと検討したいと思います。
- <八木> 宇都宮JCが行う運動の最大化というところで、どのようなブランディングを考えていますか。
- <豊崎> 映像や某体関係をツールとして活用し、地域においてJCの市民団体としての価値を高めることを念頭においています。
- <八木> 私たち自身も、一人ひとりが市民でありますので、このような機会をつうじ、私たちも成長しているというところも伝える事ができれば、JCを知らない方が絡むことで機会をえる、ということを伝えられればと思いました。
- <小瀧> これをみてもワクワクしません。絵コンテのまちの写真にしても閑散としてるので、もっと賑わっているまちの写真を使っていればと思います。
- <豊崎> 委員会で検討します。
- <木村> 写真だけではなく、動画を入れて動きを取り入れた方が伝わりやすいのではと思います。
- <豊崎> 事務局で創作したいと思います。
- <福田(弘)> 公益での予算取りをしているが、主に対内向けに作られているので、法令会計審査と連携し、進めてください。
- <豊崎> 法令会計審査会議に相談をし、進めさせていただきます。
- <福田(之)> ブランディングの説明をもう一度説明願います。

- <豊崎> 私たち、宇都宮 J C のメンバーも、一市民として存在しています。その中での J C としての価値をいかに見出せるか、そこを念頭におき、ブランディングをとらえています。
- <福田(之)> 豊崎委員長の想うブランディングと、理事長の想うブランディングのイメージが同じものではないのかなと思います。しっかりとそこは事務局長、専務と話し合い、所信に書いてあるブランディングをどのように市民にアピールして行くかというところをもっともっとよく考えていただきたいと思います。
- <山田> 参考資料の某体の選定とその経緯のなかで、トチペさん、もんみやさんと色々ある中で、なぜリビングマロニエさんなのかご説明願います。
- <豊崎> 最大の理由は、日常生活の中で奥様からこどもへ、家庭が動き出す観点からリビングマロニエに選定させていただいております。動員を考えた時にこのリビングマロニエが一番適切ではないかと思い選定いたしました。発行部数に関しても、もんみやさんと比較しても比べものにならない部数を発行しております。
- <船見> 工夫のところで、女性にターゲットをおいたり、リビングマロニエに掲載するのであれば、ミヤリーちゃんをのせたりだとか、女性のメンバーの映像ものせた方がよいのではと思いました。
- <豊崎> 各委員会さんと調整しまして製作の方進めたいと思います。
- <小瀧> 常任の時に言ったのですが、各広報某体のどれに効果があったか、数値化できる仕掛けを作りますとありましたが、これはどのような仕掛けなのでしょう。と思います。
- <豊崎> 先程依頼事項でも言いましたが、各事業ごとのアンケートで、どこの広告某体をみて参加されたかをアンケートの中身に記載していただくかたちをとって、そちらから数値化できる仕組みをつくって行きたいと思っております。
- <村上> 正副でも言いましたが、売り手目線だと思います。一般の人がみても、押し付けでしかならないと思います。ドキュメンタリー番組にあるような冒頭のオープニングのような映像がいいのだと思います。宇都宮 J C はこんなことやっているのだ。俺たちでも参加できるとしてもらえるような、そのように繋がる映像にしてもらいたいと思います。

#### 協-0 4 2月新入会員認証(案)について

協議資料に基づき、八木副議長 より上程文の読み上げ。

- <村上> 特に意見はありませんが、先日の公開委員会の後にお話をさせていただきまして、非常にやる気がありいい男だなという印象を受けましたので、引き続きフォローをお願いします。

<八木> 特段問題ないようでしたら、審議格上げの動議をお願いいたします。

<中島(崇)> 審議格上げの道議がございました。セコンドされる理事の方、右手挙手をお願いします。

羽石議長 橋本事務局長  
全会一致審議格上げ 審議事項4番項

#### 15. 報告依頼確認事項

報-01 対外出向者について

<中島(崇)> ご一読ください。

報-02 年間公式スケジュールについて

<中島(崇)> ご一読ください。

報-03 会費納入状況について

<中島(崇)> ご一読ください。

報-04 特別会員入金状況について

<宮林> ご一読ください。

報-05 ビジター報告

<八木> ビジター報告書の3ページ目、店橋宏尚君の生年月日の部分になりますが、満35才ではなく34才になりますので訂正いたします。

報-06 ビジター名簿

<八木> ご一読ください。

報-07 次回開催について

3月26日(水) 19:00～ コンセーレ バンケットホールにて開催。

#### 16. 監事講評

<黒川>

まずは総務、渉外委員会の皆さん、本日の設営本当にお疲れ様でした。そして本日、2人

の監事が欠席となってしまいまして、私の方から謝罪をさせていただきます。本当にすみませんでした。

本日、理事会前に、YEGの全国大会の件で、3人の歴代理事長が御礼に来ました。先週お手伝いされたメンバーの皆さん、本当にお疲れ様でした。私も1人バンバ広場の方で手伝いをしてきました。皆さんご存知のない方もいると思いますが、私もしっかりとお手伝いをしてまいりましたので、この場を借りてご報告させていただきたいと思います。けしてサボっていたわけではなく、神宮先輩の手伝いをしっかりとやってまいりました。そして本日、3人の歴代理事長の方がおっしゃっていましたが、突然来て100%設営ができる、それがJCの素晴らしさと言っておりましたが、本当に私も行くと自然に体が動くのです。YEGの皆さんよりも率先して私も動いておりましたし、そうやって体が動くのは日々、JCの会議の設営ですとか、例会の設営ですとか、そういうことをやってきたからこそ、こうしてすぐにできるのだなと思います。皆さんもこれから例会や事業をお持ちだと思いますけど、是非とも委員会メンバーに、率先してこの設営をやっていただいて、すぐにそういった場所に行っても設営ができるような人間を育てていただきたいなと思います。それと、またどこかで会った時はご馳走しますとか言っていましたけれど、是非、ご馳走していただけてください。よく私も3人の先輩にはご馳走になりまして、またたかりに来たのかと言われるのですけれども、すごくよい話をしてくれるのです。JCに対して凄く経験のある方ですから、凄くためになる話をしてくれますから、あまり話したことのない方も、是非お会いしたら、先輩ちょっとご飯でもおごってくださいと言って、アドバイスでも貰っていただければなと思います。

本日審議案件3件ありましたけれども、本当にここからの準備が大事だと思います。理事長もおっしゃっていましたが、本当にシミュレーションが大事になってくると思います。是非とも、これから例会、事業に向けて、しっかりとシミュレーションをしていただいて、この事業、例会に臨んでいただければなと思います。

最後になりますが、明日は2月市長例会がございますので、皆様もう一度、メンバーへお声掛けをしていただいて、多くのメンバーが例会に参加できるようにお願い申し上げたいと思います。

## 17. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2014年度 第2回 理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成：総務委員会

議事録署名人：村 上 正 高  
黒 川 崇